

WSC プレ 25 周年米国北西部の旅

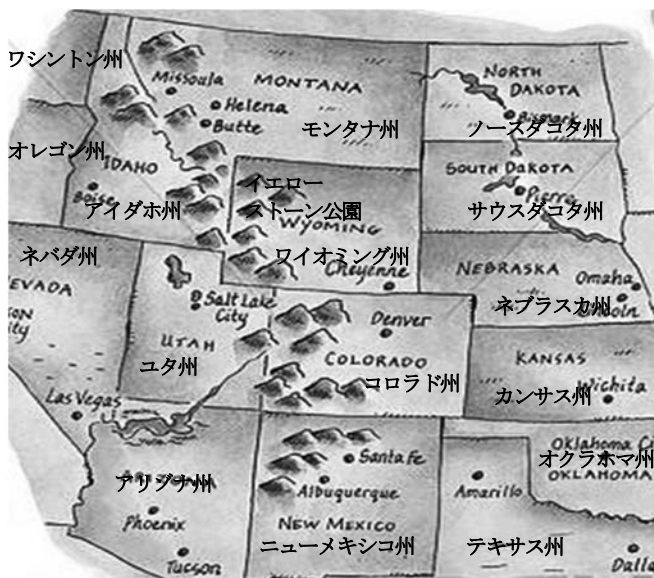
～米国北西部の耕作地の雄大さに驚く～

村上有三 (東京都文京区)

神山清英 (東京都新宿区)

WSC が長期間サポートしているコロラド州立大学 (CSU) の日本語学科を公式訪問し、日本語学科の学生と交流会をもちました。さらに、米国北西部のコロラド州、ワイオミング州、ネブラスカ州、モンタナ州、サウスダコタ州を訪ね、各自思い思いに堪能しました。ロッキー山脈や、イエローストーン公園の恵まれた自然に驚愕し、耕作地がどこまでも続く平野を見て、米国の広さに驚きました。

ワールドステイククラブらしく規律と品位をもち、一方では会員だけの団体であるので自由さと安心さを満喫し、国際交流や社会貢献が肩肘張らずにできました。



期 間：2019年9月18日(水)～9月29日(日)

費 用：航空機(成田～デンバー直行便)15万円
宿泊代18万円、移動費(専用バス)1,400ドル
食事代400ドル

食 事：朝食：ホテル 昼食：スーパーでサンドイッチ
やサラダを調達 夕食：宿泊地でのレストラン

参 加：10名 神山清英、村上有三、葭江芳夫、
國分朋子、島田貢代、笹野美代子、中条裕子、
西村美津代、磯崎晃、佐竹勝年

リーダー：村上有三 **現地参加**：稲葉敬一(コロラド)

ガイド：コロラド在住のティム・ベーケン氏 全行程に
て通訳係と専用バスのドライバーも担当

航空機：ユナイテッド航空 往復路とも直行便
成田⇄デンバー空港 満席に近い

移動と観光：専用小型バスで移動
運転・通訳・ガイドもティムさん

旅程と観光

9/18(水) 出発；成田空港→デンバー空港
UA142便 10時間のフライト

9/18(水) 到着；デンバー空港 時差により同日
結団式；夕食のレストランにて
宿泊；エステスパーク CO

9/19(木) 観光；エステスパーク国立公園
ロッキー山脈を遠望
スーパーにて交流会の食材を購入
宿泊；フォートコリンズ CO

9/20(金) CSU キャンパス訪問
公式訪問；挨拶状、記念品贈呈
言語・文学・文化学科 学科長代行
ジョナサン・カーライオン博士
授業参観；1年生、2年生のクラス
式典；CSUとWSCが相互に感謝状贈呈
料理；BBQ(CSU提供)

太巻き寿司・カレーライス(WSC)
日本文化紹介；WSCメンバーが指導
折り紙、書道、茶道

宿泊；フォートコリンズ CO(コロラド州)

9/21(土) 観光；ララミー砦跡、カーヘンジ
宿泊；ホットスプリング
SD(サウスダコタ州)

9/22(日) 観光；クレイジーホース記念館、シルヴァン
湖、ラッシュモア山(ライトアップも)
宿泊；キーストーン SD

9/23(月) 観光；デビルスタワー
宿泊；シェリダン WY(ワイオミング州)

9/24(火) 観光；イエローストーン国立公園
宿泊；ウエストイエローストーン
MT(モンタナ州)

9/25(水) 観光；(イエローストーン 北側巡り)
テラスマウンティン、マンモスホット
スプリング、タワーフォール、
イエローストーン大渓谷
宿泊；ウエストイエローストーン MT

9/26(木) 観光；(イエローストーン 南側巡り)
間欠泉(オールドフェイスフル)、
グランドティトン国立公園
宿泊；ジャクソン WY

9/27(金) 観光；750kmのロングドライブ
宿泊；フォートコリンズ CO

9/28(土) 出発；デンバー空港→成田空港
UA143便 解団式；空港ロビーにて

9/29(日) 帰国；成田空港 各自帰途へ

今回の旅でのイベント

1. WSC がサポートしている CSU 日本語学科を訪問しました。学科長代行への表敬訪問、1 年生と 2 年生の授業参観をし、交流会をもちました。現場での見聞きにより、今後の活動のヒントを得ました。
2. 交流会の冒頭の式典にて、WSC と CSU が相互に感謝状を贈呈し互いの今までの活動にエールを送り、今後の発展を期待しました。折り紙の指導、お習字の実技指導をし、お茶のお点前も行いました。カレーライス、太巻きずしの提供は学生さんに好評でした。日本文化紹介の豊かな交流会でした。
3. 米国北西部でのいろいろの観光をし、楽しみました。ロッキー山脈の遠望、イエローストーンの間欠泉に感動し、デビルスタワーを見上げました。ラッシュモア山では、著名な米国大統領の顔を眺めて、国家統一の象徴としての国旗と国歌の大切さを再認識しました。ネイティブアメリカンの記念館の展示品には、複雑な感情が沸き上がるのを抑えることはできませんでした。

米国北西部のロングドライブの旅

米国北西部の今回の観光で、ともかく印象が強かったのはキャンピングトレーラーを数多く見たこと、フリーウェイが四通八達していることでした。また、電力線の送電ケーブルが、大型の電柱から簡易型の電柱ととりどりでしたが、張り巡らされていたことです。この地域、特にワイオミング州は全米最下位に近い人口の少ない州にもかかわらず、電力網の整備があり米国のインフラの確かさを実感しました。



米国の国土の風景

北西部の 4 州をドライブにてフリーウェイで巡り、強い印象は国土の広大さでした。平原と山並みが見渡す限り続いています。また、米国の映画の西部に多く登場する豊かな水量の河川、河辺から溪谷に沿ってのまばらな針葉樹林帯、そして赤色の層をなした海底隆起の地層、見るのに飽きませんでした。訪れた州はいずれも農業が主体で、トウモロコシ、大豆、ひまわり、ジャガイモなどがそれぞれ一面に作付けされていました。灌漑の方式は、円形に農業用水を供給する巨大な車付きの機械で行っていました。円形に水を供給するので土地の無駄が出ますが、このことが気に



ならないほど可能農作地は広大で粗放農業の典型でした。耕して天に至るの感がある緻密で効率的な農業用地を見慣れた目には、改めて驚きの感慨を受けました。

水といえば、コロラド州は乾燥地域であり金に相当するそうです。逆にいえば、農業用水さえあれば、いろいろな農業作物の耕作が可能と推定されました。なお、コロラド州は空気の乾燥が高いため、花火は禁止でした。



ハイウェイを移動中、目に入った事象で気になったものがありました。石油の井戸の汲み上げポンプが、ポツンポツンと点在していたことです。米国の石油資源の豊かさを目の当たりにしました。

なお、風力水汲みポンプも見ました。

米国統合の象徴 国旗と国歌

ラッシュモア山でのライトアップセレモニーで、国旗の受け渡しと大勢の立会者による国歌星条旗の斉唱の場面を見ました。



広大な領土とその国境を守り、多様な人達から成立している国家の統合の象徴でした。

国民の存在、領土の保持、明確な国境などの条件を備えた近代の国家には、道路網の充実や通信網の整備、そして電力供給網が必須の基盤であるとの認識を今回痛感しました。これは、「ローマの平和」を現出させた古代ローマ帝国における「すべての道はローマに通ず」以来鉄則のようです。

ロッキー山脈の水 その味は格別

今回の米国北西部旅行で、ホテルやモーテルでの蛇口から出る水が飲用可であることに感激しました。海外旅行での飲料水はボトル入り、これが常識です。ロッキー山脈の天の恵みの水は、米国の農業生産能力の強さの源であるようです。



ロッキーの北端はカナダにあり、南端はニューメキシコ州におよぶ 5,000km の長さの大褶曲山脈です。この褶曲山脈の成り立ちは実に古く、新しくても 1 億年以降の恐竜時代です。ロッキー山脈は水の宝庫で、米国の水源の 1/4 を占めているそうです。

北西部の街並み

どこでも美しく落ち着いた街路と建物があり上品な風情でした。もちろん、街路にごみはありませんでした。特に、ワイオミング州のシェリダンで感じました。

ユナイテッド航空

客室乗務員の構成は、人種と年齢が多様で米国の人種構成を表しているようでした。このような様子は、現場体験をしないとわからないものです。

宿泊施設、特にモーテル雑感

今回利用した宿泊施設で、いちばんモーテルらしかったのはモンタナ州のベストウエスタン・インでした。宿泊室の前に車の駐車スペースがあり、典型的なスタイルでした。トイレトペーパーとシャボンの上質で、ここに特徴がありました。

ホテルクラスはもちろん今回利用したモーテルでもWi-Fiが完備していて、回線速度も実用的に十分でした。住宅地域にはアンテナ塔がまばらにあり、今回の訪問地域には高層建築は皆無で、また地形的にも平野部ですので電波が隅々まで届くには不安はないようでした。

ただ、アメリカのこの地方のホテルのトイレは日本式のシャワートイレが皆無であり、ちょっと残念でした。

ティムさんの運転 順法の安全運転

今回はロングドライブで、走行距離3,000kmでした。全行程をティムさん1人での運転でしたが、制限速度順守の安全運転で、安心感の高いハンドルさばきでした。

ワイオミング州では高速道路の制限速度80マイル(130km)が標準で、乗っているだけでも緊張するところもありました。ドライブ中に制限速度の切り替わりの標識が出ると、確実に従っていました。対向2車線の狭い道路でも、制限速度90km程度のところがありました。順法で安全運転のティムさんですので、安心でした。実は、ティムさんはベジタリアンですので、体力を維持して安全運転をする努力にも驚きました。

昼食は毎回ピクニック気分

ティムさんの提案で、スーパーでサンドイッチやサラダそして飲物を購入し、ドライブ途中の景色のよい場所で昼食にしました。雨の少ない地域での移動でしたので、絶好のピクニック気分を味わいました。



日本での道の駅やサービスエリアのような食堂施設は皆無であり、弁当持参しないと飢え死にしそうでした。

州立公園、国立公園の入園料

入園ゲートで、車1台単位で入園料を支払う方式です。



ミルナーパス (エステスパーク)

標高3,279mの頂上のすぐ下まで車で到達できました。



展望が素晴らしい

ロッキー山脈遠望



青い空に浮かぶ
雲と連なる山脈
なんとも美しい

ララミー砦

映画の題名にもなっている著名な砦。ララミー川などに囲まれた場所にあり、米英両国間のオレゴン境界紛争、インディアン戦争での舞台となりました。交易場所としてやオレゴン街道の旅人に便益を図ったとのこと。



史跡として保存され、
米国歴史と重畳している
当時の移動は幌馬車だが
現在はトラック



この地を訪れて、TV放映でおなじみの「ララミー牧場」も懐かしく思い出しました。ウエスタン調の主題歌が頭の中で鳴り出しました。日本では、主題歌をデュークエイセスが歌っていたような気がします。

カーヘンジ 英国のストーンヘンジに似せている



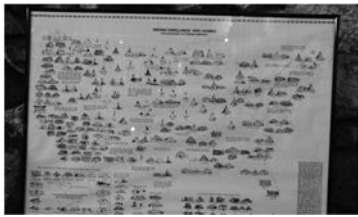
古い自動車を灰色に塗装 1950~60年代の乗用車

クレイジーホース

スー族の戦士です。世界最大の彫刻としてその姿を岩山に造形中です。高さ 170m、長さ 195m の予定だそうです。遠望できるのは、現在は顔と腕のみです。クレイジーホース記念館には、1/34 の白い模型が設置されていました。1 家族の自費と寄付で賄われている壮大なプロジェクトで、ラッシュモアに対抗しています。



騎乗のクレイジーホースは右手を伸ばしている 穴はその腕と馬の背の間になる



米インディアン分布実に多くの部族がいたことがわかる
クレイジーホース記念館にて

シルヴァン湖

森に囲まれた密やかな湖でした。家族連れの観光客が多く、落ち着いた感じの場所でした。水辺の散策をしました。



デビルスタワー

映画「未知との遭遇」では、このデビルスタワーが UFO の着陸場所として描かれています。UFO ファンにとっては“聖地”です。

5 千年前に上昇したマグマが固まり、周りの岩石が風雪ではぎとられこの姿になったとのこと。その姿から米国インディアンの信仰の聖地として崇められている、このわけに納得しました。



デビルスタワー
縦に筋が入った岩山で頂上は扁平
岩山の麓を半周して大きさを実感した

ラッシュモア山 国立記念館

ワシントン、ジェファーソン、リンカーン、ローズベルトの各大統領の顔の彫刻で有名です。標高 1745m もあり、花崗岩の岩山でした。まさに、米国の偉大なる大統領を見上げる仕組みでした。

ヒッチコックの映画「北北西に進路を取れ」のラストシーンのクライマックスに登場しています。案内所では、英語やスペイン語などに加えて LAKOTA 語の案内書があることが掲示されていました。

夜間のライトアップセレモニーでは、星条旗の受け渡しと国歌「星条旗よ永遠なれ」の斉唱があり、厳かな気分となりました。



星条旗の受け渡しと米国歌の斉唱

イエローストーン公園

19 世紀に設定された世界初の国立で、その名にふさわしく雄大で自然が豊であり野生動物の鹿（エルク）やブレイリードッグ、バッファローが道脇で散見されました。火山地帯にあるので温泉が豊富で、特に間欠泉はおなじみのものでした。

2 日間にわたり、この公園の南北を八の字に観光しました。初日は北部を、2 日目は南部を巡りました。北部のルートから行く大間欠泉を大いに期待していましたが、道路工事のためアクセスできず見送りとなりました。

・間欠泉 イエローストーン公園の南側の目玉

オールド・フェイスフル・ガイザーと呼ばれる有名な間欠泉を見学。屋外の椅子に座り待つこと半時間、最初は白い蒸気の根元に温泉が少々立ち上るのが見え、ややしばらくすると本格的な温泉の噴水が見えました。温泉の吹き出し口の回りの見物客は、誰もが写真撮影に余念がないようでした。



オールドフェイスフル間欠泉
案内所に掲示された時刻表とほぼ同じ時刻に噴出した



見物人が回りを囲み見上げる

・マンモスホットスプリング



石灰岩のテラス
棚田を温泉が流れる
見物客の帽子も



・タワーフォール



タワーフォール
滝上の左側に起立し
た岩の塔がある

説明板によると滝上
で空気の泡が混じり
特徴ある水の流れを
作るそうです

・イエローストーン大溪谷の滝



滝の右脇にテラスがある
滝上からの水勢はすごい

グランドティトン山

イエローストーン公園
の南端から南に下り、グ
ランドティトン国立公園
に入りました。



車が移動するにしたが
い、右手に往年の名作である映画「シェーン」のバック
の山、グランドティトン山（標高 4,197 m）のとがった
山頂が望遠できました。この山脈の山容は美しく威厳が
あり、上部の谷筋には、氷河の残りと思われる陽に照ら
されて白く輝いていました。

このティトン山脈を右手に見ながら、ジャクソンホー
ル市までハイウェイドライブです。この町は、カンザス
シティ連銀の金融会合で有名です。市街は軽井沢を思わ
せる風情ですが、標高が 1,900m もある盆地のため、冬
季は氷点下 50℃にも下がるそうです。

フリーウェイ



コンボイ
同じ型の貨物の群団
の走行は大迫力



玉ねぎ輸送中
ハイウェイでは
なんでも移動する

道路標識



ララミー
映画やTVに登場
WSC 会員の年代に
は懐かしい!

交差点でのトラック



トラックが長い
全長が道路幅
いっぱい

道路工事 あちこちで見かけた



ホテル（モーテル）の設備



朝食はホテル あれこれ



定番のメニュー ワッフルは自分で焼く



朝食の風景
WSC 会員は朝餉の卓
に正装してのぞむ

昼食はスーパーで調達



サンドイッチ
ブラウンブレッドに
ハムがたっぷり
5~6 ドル



ビジターセンターやレストハウスでピクニック気分

夜はレストラン 豪華絢爛？！



そろって会食 メニューは各々お好みを注文

北米大陸の自然



メサ台地

ドライバーのティムさんが
スペイン語だと教示



大平原

本当に何も無い！
青空の雲が美しい

長大貨物列車 国力の象徴で米国の底力



先頭に3両、後部に2両のジーゼル機関車で牽引
全長が長すぎてカメラに納まらず

野生動物



遠望では、大きさがピンとこない
イエローストーン公園にて



バイソンの肩高
人の身長前後
ホテルロビーの
はく製
大きさを実感

牧場



広い牧場 牛や馬が数多く



幹線道を跨ぐ大きな橋
牛や馬の移動に用いる

ご自慢の車



ピカピカのハーレー
愛好家らしく磨き上げ



クラシックカー
撮影していたらオーナーが
自慢げに話しかけてきた
1915年式とのこと



黄色のスポーツカー
ミルナーバスのワインディング
グロードを楽しんでいる

会員点描



米国北西部の旅の風物

季節の象徴



ハロウィンのかぼちゃがスーパーの前にあふれていた

先進の取り組み



これは便利
スーパー常備の
電動カート
壁のコンセントから充電

看板 街道からわかりやすい



街道からわかりやすい なじみのマークもありました

日本にはありません トルネードシェルターのマーク



デンバー空港のトイレの入り口の壁
にありました 発見者 國分朋子氏

街の風景



ドライブ中に見かけた子ども かわいい

リーダーから

村上有三 (東京都文京区)

今回の旅行でお世話になりましたベーケンご夫妻に、参加者を代表して感謝申し上げたいと存じます。一昨年のネパール・ポカラの花園日本語学院訪問とツアー、昨年のマレーシア・コタキナバルの JCTIC 訪問とツアーと、日本語ボランティア活動の提携学校訪問を中核としたツアーをしました。

本年は、WSC25 周年の前倒しとして、もう 1 つの提携校コロラド州立大学(CSU)の訪問と大自然を訪ねる旅行を企画しました。今春のことですが、CSU で教鞭を永年執られたベーケン先生に、日本ボランティア代表の葎江会員と一緒に旅行の趣旨を説明しました。その後の何回かの連絡と調整を経て、この旅行に結実しました。

今回の旅行では、航空機、ホテル、移動バスが別々の手配でした。バスのドライバーとしてこの地域の運転に経験が深いティムさん(ベーケン先生のご主人)が、バスを担当していただくこととなり幸運でした。ティムさんは、日本語が達者なうえに現地に精通していてツアーがとてもスムーズに進みました。CSU 訪問、授業参観、および交流パーティーでは、ベーケン先生に準備から当日の手配までお世話になりました。

天候に恵まれ、訪れたアメリカの大自然には毎日驚きの連続で、改めてアメリカの奥深さを実感しました。国立公園の管理された運営では、自然をありのままに残す精神にも感心しました。昼食をスーパーで買い込み、自然の中でのピクニック風ランチも楽しいものでした。

毎日の移動距離が長い旅程でしたが、夕刻の到着後早めの夕食、早めの就寝ができたので体調を崩す会員はなく、帰国できました。もっとも、帰国の航空機内が寒かったのには少々参りました。WSC の特色のある有意義なツアーが、予定通り催行できたこと嬉しく思います。

海外旅行については、諸般の事情により催行が難しくなっていますが、WSC ならではの特色を生かした企画を、今後も提案し実現したいと思っています。

旅の感想

中条裕子 (神奈川県横浜市)

小学校低学年の時、かつての阪急ブレイブスのホームグラウンドができる前、阪急西宮駅前広場に「アメリカ博覧会」というテーマパークが半年ほど催されました。その会場に入るやいなや、空にも届くほどのマウントラッシュモア像がありました。他のことは何も覚えていませんが、ずっと私とアメリカの間に存在していました。

この度、まさかの出会いができました。少し残念なのはアメリカ大好きな父がいないことでした。昼間の岩山にくっきり刻まれた巨大像、そしてライトアップされた夜の光景、父の分までも感激しました。夜間、アメリカ国歌と共に国旗が降納され、拍手とともに暗闇に消えていく巨像に、今までに増してアメリカ好きになりました。

島田貢代 (埼玉県さいたま市)

10年前のこの時期、日本語ボランティアとしてCSUに2か月間滞在、“十年一昔”です。CSUとの交流会では会員5人のベテラン主婦が、炊飯器に5kgの米を、大鍋や小鍋にチキンカレーやベジタリアン向けカレーを、太巻き寿司15本、手巻き寿司を腕によりをかけて用意しました。すぐに完食となり、作り甲斐がありました。

茶道、習字や折り紙には、学生たちは進んで挑戦していました。呑み込みが早く、上手に仕上げているのに驚きました。学生達との交流は楽しく、感動深い経験をしました。多くの方が、チャンスを作りこのような場にチャレンジしてほしいと思いました。

ラッシュモア像には前から行きたいと思っていたので、4人の偉大なる大統領の顔を見たとき、これぞアメリカに来たという思いでとてもうれしかったです。夜のライトアップの式典では、全員が立ち上がり右手を胸に、国歌斉唱には身が引き締る思いでした。

長距離移動でのランチを、毎朝街のスーパーで求めました。つい余計な買い物をしたりして時間オーバーもりましたが、買い物好きの女性たちには楽しい時間でした。出来合いのランチだけでは飽きてしまうので、限られた食材ながらも工夫をしました。そのこともあり、ランチ代が安く済んだことはなによりでした。

私たち世代に懐かしい映画「ララミー牧場」、「シェーン」、ヒチコックの「北北西に進路を取れ」などの撮影場所が近くにあり、ひとしきり映画談義となり盛り上がりました。ヒロインの名前がすぐに出ず、大笑いしました。

訪ねた国は45ヶ国ありますが、行っていない国や都市があります。「楽」で「安」くをモットーに旅をしたいと思います。そんな旅をご一緒しませんか。

笹野美代子 (東京都調布市)

大自然の中で、毎日ランチを体験できるとは夢にも思いませんでした。ティムさんは、今回訪れた地域をよく知っているの、大きなスーパーに寄って昼食用に自分の好きなものを買いました。広々とした爽やかな公園のベンチで、昼食を摂りました。私達は、これを「ピクニックランチ」と名づけて満喫しました。旅後半のホテルではサラダ類が全然出てこないの、スーパーで色鮮やかなサラダ類を求め、皆で分け合いました。それにしても、サンドイッチの中身が、すごく豪華なのには驚きました。

夕食はホテル近くのレストランです。アメリカの1人分はさすがに多く、我々は2人で分けました。また、バドワイザーを、瓶ごと口につけて飲む習慣には驚きました。「ここで美味しいものを望むのは無理、美味しいものは日本へ帰ってから食べなさい」と同行の一人から言われたのも、旅の思い出となりました。

葭江芳夫 (東京都豊島区)

朝食でのことです。モーテルのパンケーキやワッフルのインスタント製造機には、驚きました。ボタンを押すだけで、パンケーキが自動的に2枚出てきます。ワッフルは、まるでたこ焼き風で溶かした小麦粉を流し込んで裏返しにしたりします。僕は初めてみました。モーテルに泊まったことがなかったせいかもしれません。

夕食では、みんな美味しいビフテキが食べたくて注文したのですが、大体は「ハズレ」でした。アメリカ人はたしかに日本人ほど「食」に興味がないから、あんなものが美味しいのでしょうか。あるいは美味しいビフテキが食いたいなら、30ドルではダメなんですか？スーパーで見る肉は、美味しそうであつたのに。

僕は今回の旅行で、「フィリーズのチーズステーキサンドウィッチ」を探していました。ついに、ワイオミング州のジャクソンホールの町にあるドミノピザ屋で見つけました。実に美味しいサンドウィッチで、大満足でした。